

小杉好弘記念賞の創設と基金寄付のお願い

陽春の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、既にご承知と存じますが、2010年8月13日に長年当学会の副理事長として活躍された小杉好弘先生が永眠されました。先生は日本のアルコール医療の基礎を作るだけでなく、アルコール関連問題対応の先駆者として研究や実践のなかから全国各地の人材の養成に力を注いでこられました。その理念は今も私たちに受け継がれています。

先生の活動は多岐にわたりますが、その一部を紹介します。1961年には大阪断酒会の設立に貢献し、その後、和気隆三先生、故今道裕之先生たちとともに、自助グループ、行政、医療の三位一体を柱とした「大阪方式」をうちたてました。また、単身者、とりわけ難治とされた「あいりん地区」のアルコール依存症者の治療に道を開きました。その後1976年には日本ではじめての「ベットをもたない」アルコール専門外来である小杉クリニックを開設し、生活地域の中でアルコール依存症者の回復に力を注いでこられました。その後も日本初のアルコール専門内科病院を開設され、今までの常識を打ち破りました。また1960年代から、弘済院、自彊館、喜望の家などの回復者施設への援助を行うなど、医療の枠をこえて新しい社会福祉的展開をなされました。その多職種による地域ネットワークの充実に主眼をおいた生活地域での活動は、本学会のエッセンスでもあります。

小杉先生のが国のアルコール関連問題対応に残された功績をあらためて顕彰するとともに、小杉先生の熱いご遺志が将来の新しい人たちに引き継がれることを目的に、日本アルコール関連問題学会に「小杉好弘記念賞」を創設することになりました。その概要は以下のとおりです。

1. アルコール・薬物問題等で学術的および社会・地域貢献をされた個人・団体に小杉好弘記念賞を授与する。コメディカルを含め45歳未満の若い新進気鋭の個人および団体を対象とする。
2. 日本アルコール関連問題学会全国大会における発表を対象として受賞者を選考する。
3. 受賞者は1～3個人または団体とし、授与は毎年の年次学会時に行う。
4. 上記の目的で、日本アルコール関連問題学会内に以下のような2つの臨時委員会を設立する。小杉好弘記念賞基金委員会は基金の収集、小杉好弘記念賞選定委員会は対象者の選定にあたる。また、基金の管理は学会事務局が執り行う。
 - 1) 小杉好弘記念賞基金委員会
 - 2) 小杉好弘記念賞選定委員会
5. 毎年授与される記念賞の内容、および記念賞を授与する期間は別途定める。
6. 第1回記念賞授与は、平成24年9月の札幌大会とする。

以上、「小杉好弘記念賞」創設の意義をご理解いただき、ぜひ皆様方のご厚情をお願いする次第です。宜しくお願ひいたします。

寄付金： 1口 5,000円 1口以上

振込先：

銀行名：みずほ銀行

支店名：横須賀支店

預金種類：普通

口座番号：1960622

口座名義：小杉好弘記念賞

発起人（小杉好弘記念賞基金委員会）

代表：辻本土郎

連絡先：〒577-0841 大阪府東大阪市足代3-1-7 布施南ビル1F ひがし布施クリニック

TEL:06-7172-3219 FAX:06-6728-7722 e-mail: higashifuse@nifty.com

日本アルコール関連問題学会関係（五十音順）

麻生克郎（垂水病院）

安東龍雄（安東医院）

石川 達（東北会病院）

猪野亜朗（かすみがうらクリニック）

植松直道（西大寺植松クリニック）

岡崎直人（さいたま市こころの健康センター）

奥田 宏（ひろメンタルクリニック）

加藤政浩（新阿武山病院）

斎藤利和（札幌医科大学付属病院）

佐古恵利子（リカバリハウスいちご）

清水新二（放送大学大学院客員教授）

白坂知信（石橋病院）

世良守行（慈友クリニック）

宋 龍啓（宋神経科クリニック）

樋口 進（国立病院機構久里浜医療センター）

平野建二（新阿武山クリニック）

藤田さかえ（国立病院機構久里浜医療センター）

堀井茂雄（慈圭病院）

松下幸生（国立病院機構久里浜医療センター）

丸山勝也（国立病院機構久里浜医療センター）

三好弘之（小杉記念病院）

村上 優（国立病院機構琉球病院）

山家研司（旭山病院）

山田一郎（小杉記念病院）

杠 岳文（国立病院機構肥前精神医療センター）

和気隆三（新生会病院）

小杉クリニック関係

小谷 陣（小杉クリニック本院）

山本哲也（小杉クリニック本院）

